

亀山市立幼稚園における園児募集について

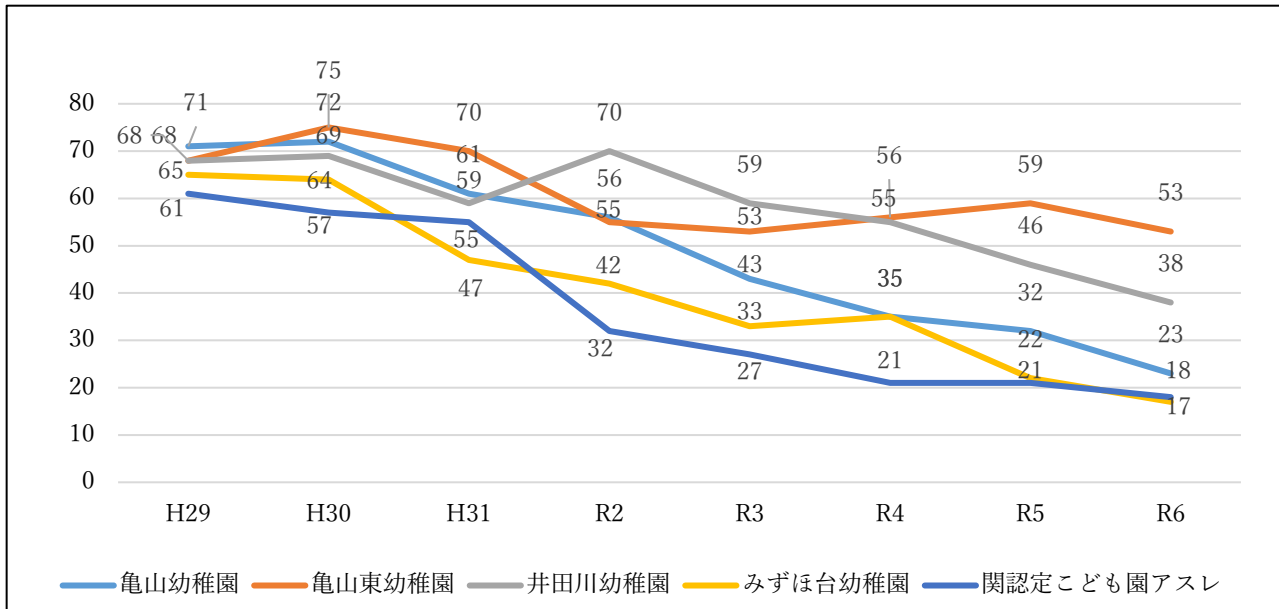
1 市立幼稚園の状況

市立幼稚園における園児数（関認定こども園アスレの1号認定を含みます。以下同じです。）の推移は、次のグラフのとおりであり、各園とも、平成29年度から減少傾向で、全園児数は、平成29年度と令和6年度を比較すると半分以上減少しています。また、3歳児の推移では更に減少傾向が顕著であり、同様の比較において3分の1近くまで減少しています。これらのことから、令和7年度についても園児数の減少は継続するものと考えられます。

特に、みずほ台幼稚園については、令和7年度の4歳児が4名、5歳児が2名の見込みであり、全園児の数が10名に満たない可能性があることから、令和7年度の募集について早急に対応する必要が生じたことから、検討を行いました。

【参考】

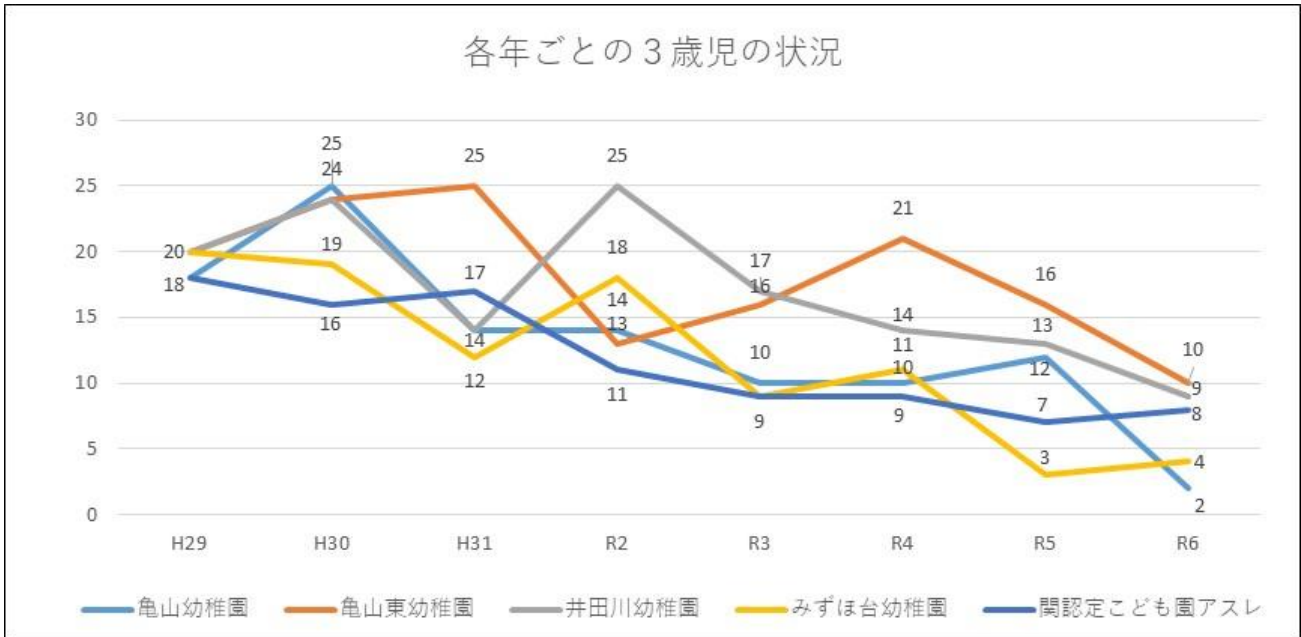
① 各年度の全園児数の状況



各年 5.1 時点 (人)

全体	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
亀山幼稚園	71	72	61	56	43	35	32	23
亀山東幼稚園	68	75	70	55	53	56	59	53
井田川幼稚園	68	69	59	70	59	55	46	38
みずほ台幼稚園	65	64	47	42	33	35	22	17
関認定こども園アスレ	61	57	55	32	27	21	21	18
計	333	337	292	255	215	202	180	149

② 各年度の3歳児の状況



各年 5.1 時点 (人)

3歳	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
亀山幼稚園	18	25	14	14	10	10	12	2
亀山東幼稚園	20	24	25	13	16	21	16	10
井田川幼稚園	20	24	14	25	17	14	13	9
みずほ台幼稚園	20	19	12	18	9	11	3	4
関認定こども園アスレ	18	16	17	11	9	9	7	8
計	96	108	82	81	61	65	51	33

2 園児募集の考え方

みずほ台幼稚園については、亀山市就学前教育・保育施設の再編方針において「令和3年度以降の事業化に向けた検討の想定」で抜本的な課題解消を図る事業として井田川地区認定こども園整備事業として井田川幼稚園とみずほ台幼稚園の統合による認定こども園の整備を掲げていることから、令和7年度の園児募集を令和8年度以降の募集を行わないことを前提として行い、みずほ台幼稚園と井田川幼稚園の令和9年度の統合に向けて進めます。

なお、市立幼稚園の園児数の減少から、施設の再編等を進める必要がありますが、令和7年度には民間事業者による認定こども園が2施設設置される予定であることから、幼稚園のみならず、就学前教育・保育施設全体の在り方について検討する必要があります。

3 今後の考え方

みずほ台幼稚園については、令和7年度の各クラスの園児数の状況により、3歳児・4歳児又は4歳児・5歳児で混合クラスを編制します。さらに、井田川幼稚園、みずほ台幼稚園両園による合同保育を拡充し、就学前教育の充実を図ります。